

平成 30 年 3 月 自立支援協議会定例報告会 議事録

(敬称略)

日時	平成 30 年 3 月 22 日 (木) 13:30~15:30
場所	東広島市市民文化センター研修室 1・2
参加者 62 人	宗近病院、六方学園、ときわ、ありんこ 2 人、太陽の町 2 人、あけぼの、しらとり会、広賀会、陽だまり、きずな、賀茂精神医療センター、東広島市心身障害児者父母の会 4 人、東広島ろうあ協会、東広島市手話サークル連絡会、手話通訳者 2 名、広島県手話通訳問題研究会、東広島市民生委員児童委員協議会 6 人、ミライの会、東広島市要約筆記サークル花たば、広島県難聴者・中途失調者団体連合会、広島県立黒瀬特別支援学校、東広島市社会福祉協議会 3 人、やさいやくろせ 2 人、ポーポーの木みなが、賀茂みどりの樹、まいらいふ、ソレイユ、すてーじ 2 人、あいびい、ピアサロンこころ、市民(当事者)、市健康福祉部障害福祉課 4 人、健康増進課、教育委員会指導課、子育て・障害総合支援センター 10 人(順不同)
<p>1. 障害福祉課 課長あいさつ</p> <p>自立支援協議会の運営体制を見直し、2 年が経過しようとしている。課題別会議の中には、一定の役割を終え終了する会議もある。</p> <p>4 月には、第 5 次障害福祉計画及び第 1 期障害児福祉計画が公表される予定。また、新たなサービス「自立生活援助」「就労定着支援」などが始まり、サービス報酬改定も行われる。詳細について情報収集に努め、提供していきたい。</p> <p>市としても、「地域共生のまちづくり」を推進するため努力していく。今後ご指導をお願いしたい。</p> <p>2. 自立支援協議会課題別会議、部会、プロジェクト会議等の進捗状況について</p> <p style="text-align: right;">※ () 内は報告者</p> <ul style="list-style-type: none"> ○精神保健福祉部会 (部会長) ○ヘルパー支援部会 (部会長) ○就労部会・収入アップネットワーク (はあとふる CD) ○療育部会 (部会長) ○聴覚障害者の課題を検討する部会 (東広島ろうあ協会) ○医療連携部会 (はあとふる CD) ○権利擁護部会障害者支援施設連絡会 (部会長) ○相談支援事業所連絡会 (NETZ 東広島) (部会長) ○課題別会議「災害時の体制整備」(はあとふる CD) ○課題別会議「障害のある子どもの長期休暇の過ごし方」(座長) ○課題別会議「地域移行(施設から地域へ)」(はあとふる CD) ○課題別会議「障害児計画相談」(はあとふる CD) ○課題別会議「地域生活支援拠点(面的支援体制)の整備」(座長) <p>3. 平成 30 年度自立支援協議会の進め方について(障害福祉課 係長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「障害児計画相談」については、今後具体的な方向性が決まったら再開予定であることを補 	

足。

- ・「障害福祉サービス等報酬改定に係る質問票」について情報提供。

4. 【質疑応答】

Q1（参加者）

精神保健福祉部会長、就労部会長、相談支援事業所連絡会（NETZ 東広島）部会長に質問したい。「経営」と「経理」の違いは何だと思われるか。また、「事業」と「人間関係」どちらを大事にされているのか？

来年度の定例報告会で回答いただきたい。

Q2（参加者）

相談支援について聞きたい。聞き取りの標準化はあるのか？ない場合、相談する場所によって対応は違ってくるのか？

A2（「相談支援事業所連絡会（NETZ 東広島）」部会長）

特に東広島市では決まった様式はない。各事業所がそれぞれの様式、方法で行っている。NETZの中で、日々の業務の工夫や課題を話し合い、改善への取り組みを進めている。

相談内容や相談者の状況は個々に違う。よりよい支援に向けて引き続き質の向上、連携強化に努めていきたい。

Q3（参加者）

東広島市の障害福祉行政、障害福祉サービス提供事業所、障害者支援に関わる職員は、真に障害者のために制度を運用したり、支援に取り組んでいるのか。障害者の労働に対して適正な報酬が支払われているのか。

A3（障害福祉課 係長）

個人により価値観は異なる。どこに重きを置いて物事をとらえるかで解釈も異なる。それぞれがケースバイケースで課題に向き合っている。

Q4（司会）

定例報告会を年2回の開催から1回の開催に変更することについて、意見を伺いたい。

⇒特に意見なし。

5. 情報交換

○東広島市社会福祉協議会

- ・「要約筆記・手話・音訳奉仕員養成講座」受講生募集について

以上